

環境作成

Android SDK

- ・ <http://developer.android.com/intl/ja/sdk/index.html> から SDK をダウンロード
- ・ 解凍して適当なディレクトリに移動
- ・ tools あたりにパスを通しておく
- ・ adb コマンドが使えるれば OK

VMWare に Android OS をインストール

- ・ <http://www.android-x86.org/download> から Android OS をダウンロード (StableRelease の Android-x86 x.x live & installation iso image)
- ・ VMWare を落とした ISO イメージからブートして Android OS をインストール
- ・ インストールが終了したら、適当に環境設定をする
- ・ ps コマンドで adbd が起動されているか確認する
- ・ (遊び) USB に音楽とか動画とか入れて、SD カードとして認識させて遊んでみる

左 Alt + F1 で CUI、左 Alt + F7 で GUI
SD カードとして、USB メモリが使える

アプリのインストールと実行、デバッグ

adb について

ちゃんと調べたわけじゃないですが

- ・ Android OS 側に adbd (adb デーモン) を起動する
- ・ adb コマンド実行側で、adb server を起動する
- ・ adb コマンドは、adb server を経由して adbd に指示を与える

だと思います。なので、adbd が起動されていればエミュレータだろうが VMWare だろうが実機だろうがまったく同じ方法でアプリのインストール、デバッグが行えます。

環境変数を設定

- ・ 基本的には VMWare を使っても、エミュレータを使っても方法は同じ
- ・ VMWare を使う場合は、環境変数 ADBHOST に VMWare の IP アドレスを指定する

```
set ADBHOST=192.168.0.1
```

これで、adb server が 192.168.0.1 を見に行くようになる。

アプリインストール

ant で開発している場合は

```
ant install
```

apk ファイルがある場合は、-adb コマンドでアプリをインストールする

```
adb install hoge.apk
```

既にインストールされているアプリを上書きする場合は

```
adb install -r hoge.apk
```

うまく行かないときは

```
adb kill-server
```

をしてから、もう一度実行。

デバッグ

- ・ adb logcat でログを確認

```
adb logcat
```

その他のコマンド

--	--
adb devices	デバイス一覧
adb shell	adbd 上でのシェル
adb start-server	adb 開始 (基本的に自動で行われる)
adb kill-server	adb 停止